

An aerial photograph of a coastal town in Japan. The town is nestled between lush green mountains and a large blue bay. The foreground shows a mix of residential buildings, green fields, and roads. The background features a clear blue sky and distant mountains across the water.

里山里海イニシアティブ

—生物多様性を活かす

伝統を未来へ



☆海辺の地域づくりにかける 夢☆

福岡県系島地域の「**里山里海**」は、古代から受け継がれてきた「**自然共生社会**」
「**持続可能性**」を体現した地です。

沖には対馬暖流が流れ、入り組んだ海岸線が、砂浜、入江、干潟をかたちづくっています。さらに、背後の奥山、平地に連続する多様な自然が、山から海までの人が住む器となっています。

この地に蓄積された地域の知恵（ローカルナレッジ）を受け継ぎ、
21世紀にふさわしい形に発展させていくのが **夢** です。

地域に集中することで、グローバルにつながっていく。それには、生物多様性条約でも日本から提唱した、里山イニシアティブに、里海を加えた目標を設定しました。

この里山里海の地域づくりは、まさに**人間の生息地（ハビタット）の持続可能化整備**。
まさに地域づくりの熱意ある経験者の方々のお力が不可欠です。

以下はその説明資料です。

「里山里海 イニシアティブ」

＜事例＞
糸島半島
九州大学
伊都
キャンパス
が立地

- 糸島半島らしい里山とは？
- 里山は里海も育ててきた。
- 「半農半漁」⇒自然共生社会のモデル
- 生物多様性の持続可能な利用
- 「祭」の中の里山の知恵を再発見
- 大学の実習や公民館講座の中で継承
- 地域活動を国内外へ発信
- 生物多様性条約・地域戦略など

市民力を活かした
里山里海

「糸島里山里海イニシアティブ」 のステップと実施例



市民と大学の懇談会
公民館講座 ※

学び

- 基礎知識(生態系、暮らし、産業、歴史文化)
- 見学、イベントへの参加、交流、活動記録作成

活動記録作成

参加

- 分担者、企画者(主体的)
- 具体的なアイデアの着想と実施、アーカイブ(蓄積)

公民館講座、図書館



問題解決

- 問題の発見、情報収集と分析
- 科学的、文化的解決

伝統や「地域知」の
多様な意味(地域づくり、科学)

目標: 多様な主体、透明性
協働、参加型意思決定

【市場】

- ・山と海のつながり
- ・里山を健全にして海を豊かに
- ・自然の恵みを享受する暮らし
- ・ライフスタイル自体が観光に



里山里海

【オリジナルな視点】

里山里海

里海から里山を考える。

- ・山と海が直接つながる
自然条件だからこそ。
- ・半島とは
山が海に突き出している。

⇒里山を陸上だけの視点にとどめない。



姉子浜の鳴き砂の生成と劣化と対策



「大入の葛の大綱引」

2017年から砂浜に
土俵が作れなくなった・・・



里山里海

Google Earth

600 m

【新規性】

伝統文化に見る里山技術



葛(かずら)の綱の製作が継承されている！
葛は、かつて実際にロープ代わりだった！

里山里海

全国で消滅。



※ 山の知恵の例 葛(かずら)の綱

- 里山の自然材料！
- 砂浜維持 →砂を溜めた後に砂中で腐る→生分解性材料
- 山仕事でロープ代わり→現地調達 of 自然材料→生分解性
- 漁業で魚を追うのに使う →生分解性

里山里海の知恵が
糸島には残っている！





里山と里海を結ぶ祭 —福井神幸祭

糸島の
“半農半漁”
+文化の担い手の
市民活動

山村

農村

漁村

伝統の危機（人員確保、材料調達、場の維持）

櫻井神社



ハード作業

大入綱引

2017年から
砂浜の侵食で
場が消滅

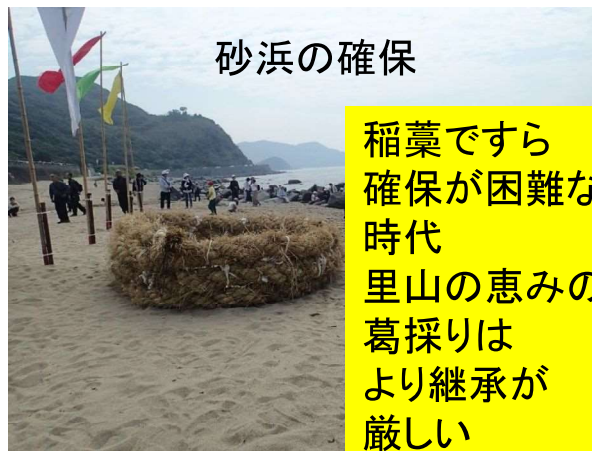


地区紹介のサイトより

若手中堅
の参加



砂浜の確保



稲藁ですら
確保が困難な
時代
里山の恵みの
葛採りは
より継承が
厳しい

相撲は境内で



糸島の里山里海が抱える課題と森と海を両方考えた解決への道

糸島の里山里海の「市民力」を活かした総合健康診断を！
住民と行政との共同調査や対話の場

【糸島牡蠣や加布里ハマグリ の持続可能な漁業】

- ・統計、ヒアリング
- ・糸島沿岸の栄養塩と潮流流動
- ・流入河川の森と土砂
- ・漂流ゴミ
- ・外部要因(海水温など)

↓

持続可能な漁業の環境容量と目標設定

※参考 三陸(環境容量に合わせた養殖量の設定で牡蠣の身入りが増え、収入が向上)

【流木災害防止】

- ・地質 風化花崗岩類
- ・間伐後の材の放置

↓

流木災害の懸念

↓

平野、海

【海岸侵食】

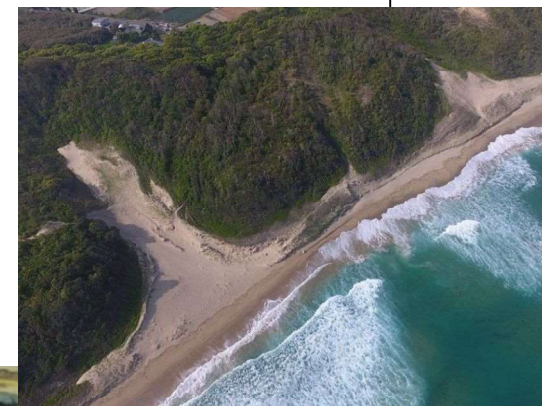
住民やサーファーの懸念、観察

↓

海岸管理者との
つながり希薄

↓

山の問題も影響



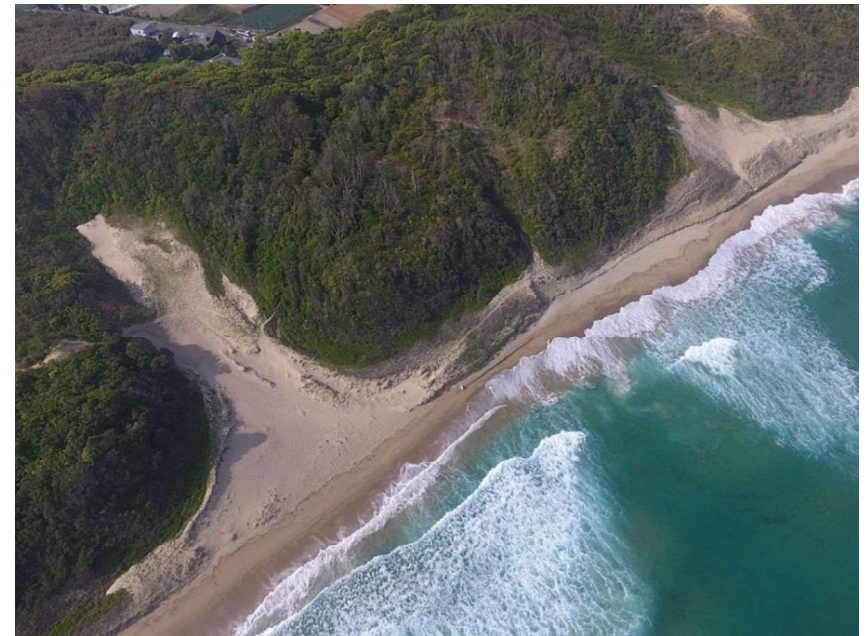
野北蛤は
既に消滅？



- ・糸島では里山と里海が“直結”
- ・現地に詳しい市民の協力が不可欠

【市民生活への還元】

- 生涯学習(社会教育)
公民館活動
- 学校教育 ⇔ 生物多様性
森川里海のつながり
自然教育(総合学習、地域課題の解決)



例 サーフスポットと海岸のダイナミクス

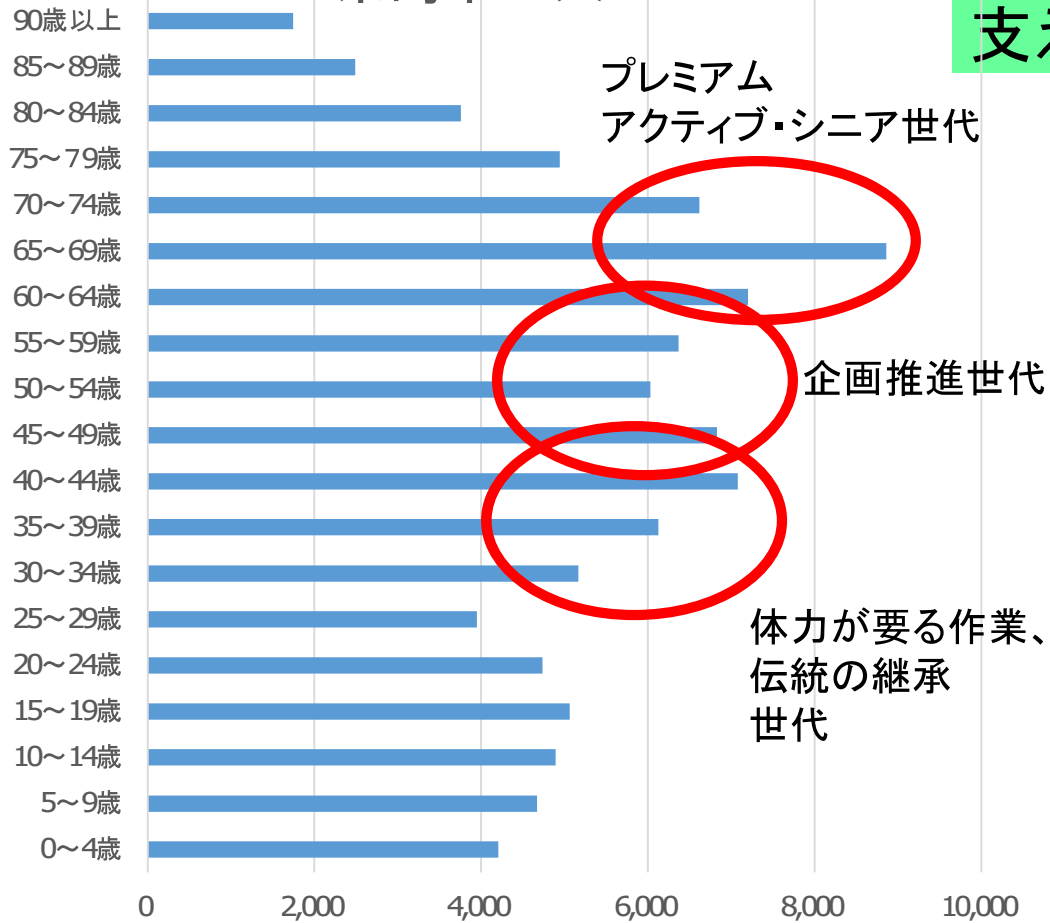
- 「糸島のライフスタイル」
やりがい: 里山里海の二次自然の再生や維持には
人の関わりが必要
楽しみの増進: 風景や散歩道の意味が見えてくる

市民力を活かした 里山里海

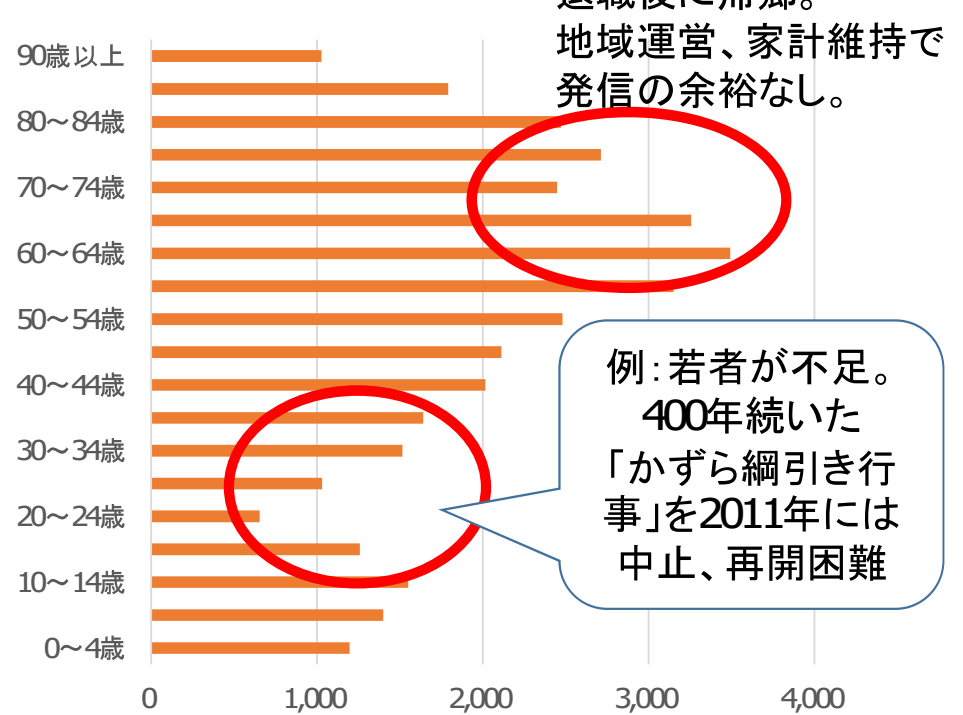
伝統文化を支える人口構成 市民活動、体力の要る社会活動を 支える世代がいるか

(2018年)

糸島市の人口



参考・五島市人口 (2015年)



市民力を活かした
里山里海

「糸島里山里海イニシアティブ」 のステップと知の集積



市民と大学の懇談会
公民館講座 ※

学び

- 基礎知識(生態系、暮らし、産業、歴史文化)
- 見学、イベントへの参加、交流、活動記録作成

活動記録作成

参加

- 分担者、企画者(主体的)
- 具体的なアイデアの着想と実施、アーカイブ(蓄積)

公民館講座、図書館



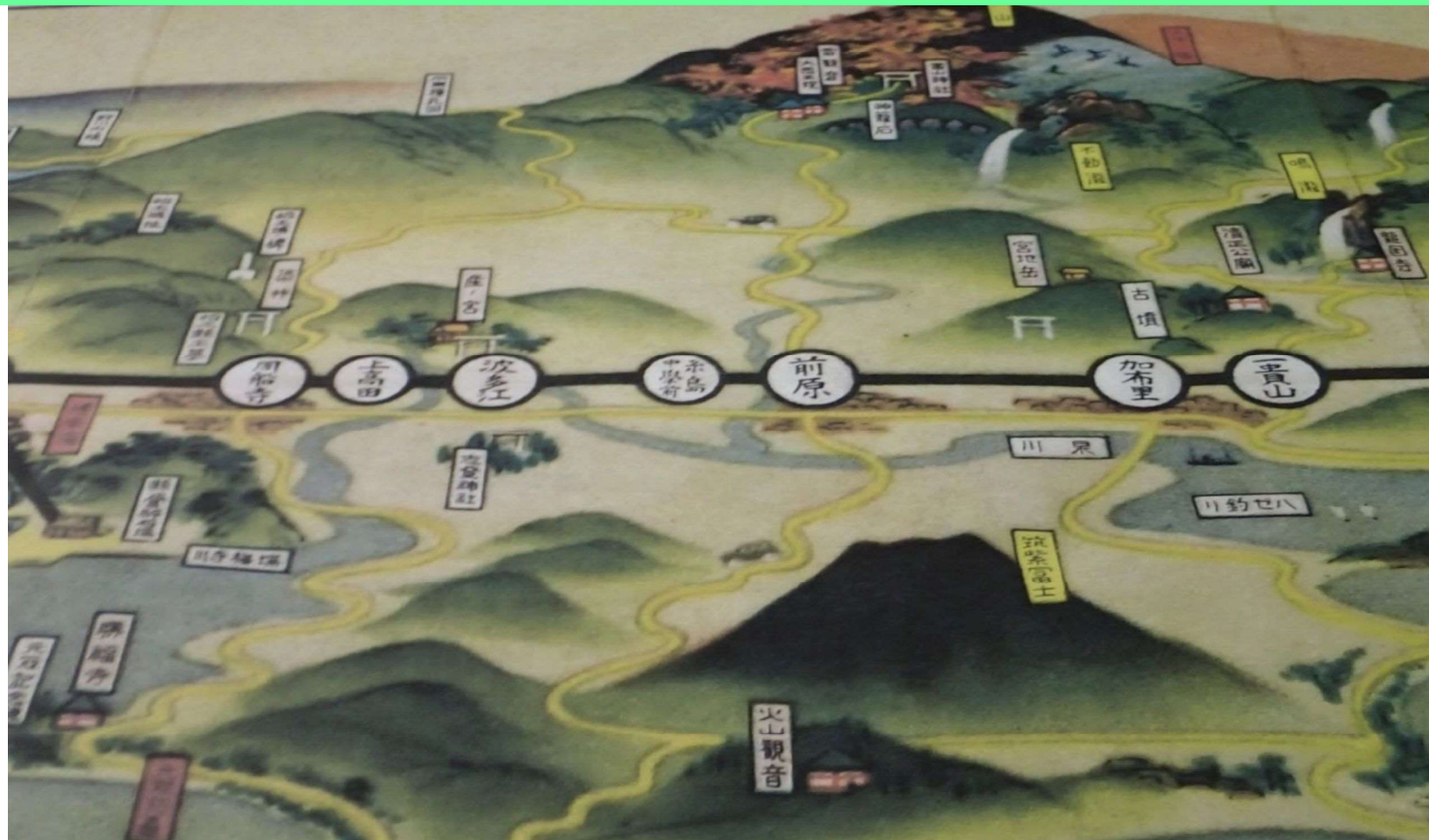
問題解決

- 問題の発見、情報収集と分析
- 科学的、文化的解決

伝統や「地域知」の
多様な意味(地域づくり、科学)

目標: 多様な主体、透明性
協働、参加型意思決定

糸島 「観光」と質の高い生活の両立を



研究を支えていただき、本日はご清聴どうもありがとうございました。

【ビジネス化の展望】 自然豊かな糸島の具体性を掘り下げる

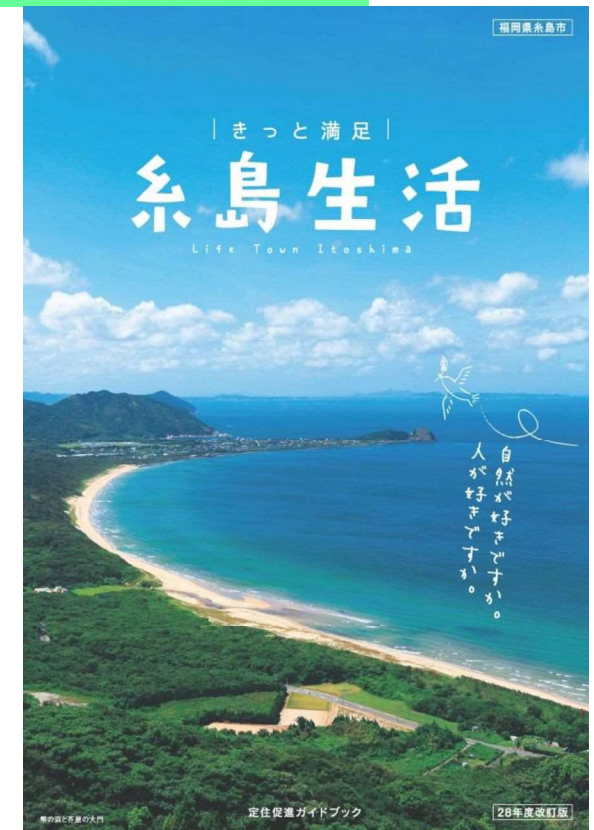
- ・ブランディング

「自然豊かな糸島」の生物多様性、自然と生きる知恵などの具体性を増す。

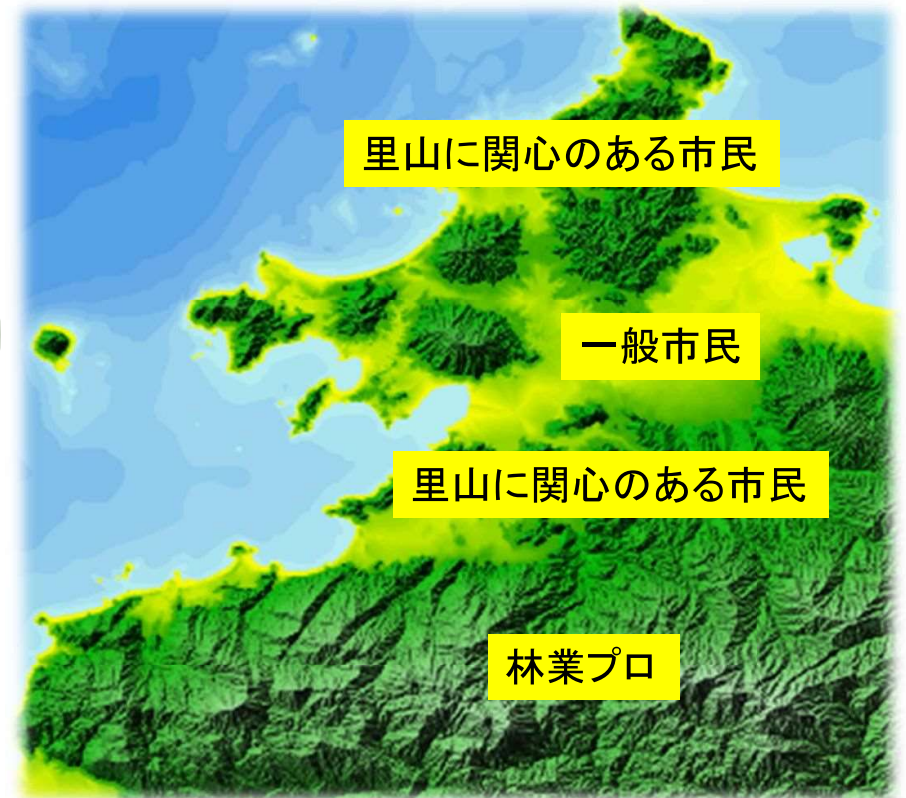
- ・糸島の物産の「トレーサビリティ(産地と経路の追跡可能)」

- ・「教育ツーリズム」具体的に學術の裏づけで見せていく
「スタディ・ツアー」

多様な流域があるからこそ、都市近郊で日帰りで学べる
流域を順次訪ねるマップ リピーター



糸島の森林での 役割分担と産業



糸島の里山管理の課題と解決

内容	原因	対策	行政、業界、学術	「市民」の役割
担い手不足	国産材需要低下、 林業衰退	収入向上	林野行政	技術研鑽、参加
放棄林の発生		間伐、管理強化	林業家、地主、林野 行政、専門家	学び、作業への 参加
資金不足		収入向上	林野行政、林業界	能力向上
知識情報不足	無関心	関心喚起の講座、 イベント	市(教育委員会)、 大学	参加、発信
参加機会不足	機会なし	参加の枠組、機会 づくり	市行政(林野・市民 活動)	参加、発信
安全管理	危険作業(伐採)	訓練	業界の講座、行政 の制度づくり	参加、技術取得
木材、製品の販売低下	プラスチックなど	木の利用の復活	技術開発、林野・経 済・技術行政	利用者、発信
山と川と海のつながりの分断	行政の分断管理 の分断	総合水政策・協議 会	自治体総合行政 (事務局は市、管理 者は県)	参加、意見、 コーディネート、 発信
土砂管理	制度不備、技術 不足	協議会、事業間調 整	土木行政(事務局 は市、管理者は県)	参加、意見、 コーディネート

イニシアティブをとっていく 「里山市民力」形成の ステップ

